

# 幼・保・小・中 一貫教育プロジェクト

## 阿久比町小学生海外派遣事業

阿久比町では小学生海外派遣事業として、毎年、小学6年生の児童をシンガポールに派遣しています。第7回目となる今回も、10人の元気な子どもたちが異国の地へと旅立ちました。今回は子どもたちの手記から、その様子をお伝えします。

### 【シンガポールに行くまでに(東部小 小界凜夏)】

シンガポールへ出発するまでに、中央公民館で4回の学習会を行いました。初めて一緒に行く友達と会ったときは、とても緊張しました。しかし、自己紹介やゲームをするうちに緊張がほぐれて仲良くなり、顔と名前を覚えることができました。みんなの努力や協力があり、シンガポールではうまく発表することができました。



### 【出発からシンガポール到着まで(南部小 瀬戸山ひなた)】

飛行機内はゲームや映画を楽しめる上、機内食もおいしく快適に過ごせました。シンガポールにはいろいろな国から来た人が多く、外に出るといろいろな言葉が聞こえてきました。私は初めて海外に行くので、食べ物が口に合うか、言葉が通じるかなど、とても不安でした。しかし、多くの方の助けがあり、楽しく学習できました。

### 【グリーンウッド小学校での授業(草木小 滝澤 遼)】

訪問先のグリーンウッド小学校は、全校児童1,000人を超える大きな学校でした。私たちは音楽と美術の授業を体験しました。美術の授業でしおりを作っていると、近くにいた子が親切に手伝ってくれました。違う民族の子との交流はすごく緊張しましたが、みんな、とても優しくしてくれて、驚くと同時にとてもうれしかったです。



### 【グリーンウッド小学校との異文化交流(草木小 竹内広樹)】

グリーンウッド小学校と草木小学校との違いは、いろいろありました。階段の壁に花や夏の絵が飾ってあること、授業に黒板ではなく電子ホワイトボードを使うことなどです。また、校内に売店があり、自分で昼ごはんを買って食べます。ラーメンやカレーなどがあり、日本のフードコートとあまり変わらないような気がしました。